市章

広報えびな

発行・海老名市役所・海老名市国分155／編集・秘書広報課／電話・31－2111（代）／〒243

毎月1日・15日発行

世帯と人口
57年7月1日現在
世帯　25,655世帯　（＋63）
人口　84,767人　（＋235）
男　43,479人　女　41,288人

夏祭り

8月7(土)・8(日) 第7回えびなふるさとまつり

今年も海老名の夏を色どる「えびなふるさとまつり」が今月七日（土）・八日（日）の両日、海老名駅西側の小田急グラウンドを会場に盛大に繰り広げられます。どうか、ご家族・隣近所お誘い合わせの上、多数ご来場いただき、夏のひとときを楽しんでください。

今回も多彩な催しものが予定されていますが、二日間にわたる日程はプログラムの通りです。主な催しものの内容をご紹介します。

◇はやしパレード

はやしのパレードは、七日（土）午後二時からトラック十六台に乗った市内各地区のはやし連が分散して市内を回ります。また、八日（日）は午後二時から会場の小田急グラウンドで全部そろって披露されます。

◇みこし

みこしは、八日（日）、市内各地区から大小合わせて十五基が参加して小田急グラウンドを練り歩き、その勇壮な姿を楽しんでいただきます。

◇流し踊り

流し踊りは、八日（日）午後一時半から小田急グラウンドで整然とした動きの優美さを披露します。

◇子供の鼓笛隊

市内の幼稚園児による鼓笛隊の演奏は、八日（日）午後三時半から小田急グラウンドで行われます。元気で可愛らしい子供たちの演奏をお楽しみください。

◇福祉コーナー

福祉コーナーでは、両日にかけて各団体による手づくりの工芸品などを即売し、また清涼飲料水なども販売します。

◇模擬店・子供シヨー

両日にわたり数多くの模擬店が、新鮮な野菜、果実を始め、手作りの品やジュースなどを販売します。

また、子供たちのために、ミニ動物村、ミニSL、大戦隊ゴーグルファイブショーなど多数の催しものが用意されています。

◇臨時バスを運行

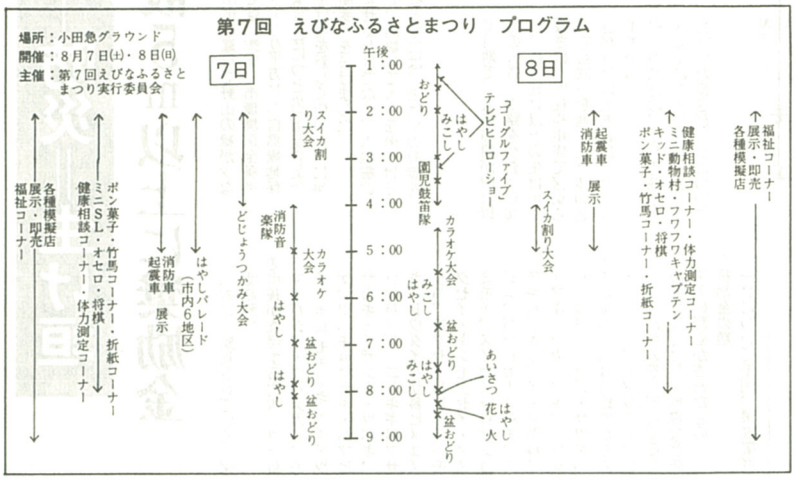
七日（土）・八日（日）の二日間、えびなふるさとまつりの駅間に限り相模鉄道㈱のご協力で臨時バス（相鉄バス）が運行されますのでご利用ください。

海老名駅は一番線から発車し、門沢橋駅では駅東側県道沿いの相鉄バス停留所から発車します。停車は、既存の相鉄バス停留所で行います。なお、運行経路と停留所、時刻表は下図・下表をご覧ください。

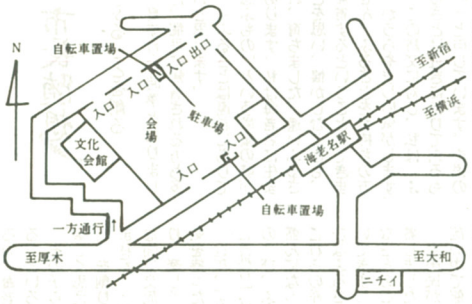
◇お願い

第七回えびなふるさとまつり実行委員会では、多くの方々のご来場、ご参加をお待ちしていますが、会場周辺の交通混雑が予想されます。ご来場には電車、バスなどをご利用ください。

なお、ふるさとまつりに関する問い合わせは、第七回えびなふるさとまつり実行委員会事務局（市役所企画調整課　☎31・二一一一）。



会場案内図



☆7日が雨天の場合は、8日のみ
☆8日が雨天の場合は、7日のみ
☆7・8日両日とも雨天の場合は9日となります。
☆会場周辺はたいへん混雑しますので電車、バスをご利用ください。

多数のご参加を

第七回えびなふるさとまつり実行委員長　荻原　松三

昭和五十七年から行われている「えびなふるさとまつり」も今年で七回目を迎えました。昨年は、市制十周年、国際障害者年を記念して行われましたが、今年の「第七回えびなふるさとまつり」は、八万五千市民がこのまつりを通して今までにも増して連帯感を高め、協調を深めることを主眼に企画されています。

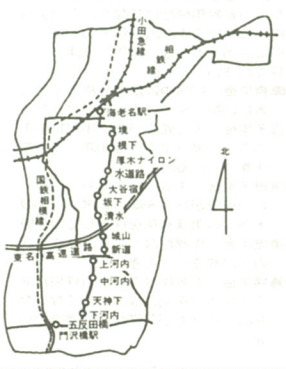
催しものは、子供たちに楽しまれるミニSL、ゴーグルファイブショー、ミニ動物村、竹馬コーナーなどを用意し、また、おとなには、カラオケ大会、盆踊りなど多彩な催しものを企画しています。

市民のみなさんには、ご家族、隣近所お誘い合わせの上、多数ご参加いただき、〝ふるさとえびな〟のこの夏祭りを楽しんでいただきたいと思います。

なお、今回も市内各種団体、小田急電鉄㈱、相模鉄道㈱、座間警察署などのご協力をいただけたことについて心から感謝いたします。

臨時バス

運行経路と停留所



時刻表

海老名駅発															
海老名駅	国分寺境	厚木ナイロン前	水道路	大谷宿	坂下	清水	城山	新道	上河内	中河内	天神下	下河内	五反田橋	門沢橋駅
16時30分	32	33	34	35	36	37	38	39	40	42	43	44	45	46	53
21時15分	17	18	19	20	21	22	23	24	25	27	28	29	30	31	38

門沢橋駅発															
門沢橋駅	五反田橋	下河内	天神下	中河内	上河内	新道	城山	清水	坂下	大谷宿	水道路	厚木ナイロン前	国分寺境	海老名駅
15時00分	01	02	03	04	05	07	08	09	10	11	12	13	14	15	23
17時00分	01	02	03	04	05	07	08	09	10	11	12	13	14	15	23

アマチュア写真コンクール

―第7回えびなふるさとまつり―

「第7回えびなふるさとまつり」を題材としたアマチュア写真コンクールの作品を募集します。ふるってご参加を。

▷作品の規格＝カラーでキャビネ判。ただし未発表の単写真　▷応募資格＝市内在住・在勤・在学　▷申し込み＝8月23日までに企画調整課内第7回えびなふるさとまつり実行委員会事務局へ、郵送または直接　▷審査発表・展示＝8月27日～9月4日、市役所ロビー　▷賞金＝金賞3万円、銀賞2万円、銅賞1万円…以上各1点　佳作5,000円…8点　▷細則＝①作品の裏に住所、氏名、年齢、職業（会社、学校名）、電話番号を明記する②入選作品の使用権は、主催者に帰属し、応募作品は返却しない③入選通知がありしだいネガフィルムを提出。指定期間内に未着の場合、入選を取り消すことがあります④リバーサルフィルムで撮影した写真は不可

緑化＋防災＝生け垣
新設5m以上に奨励金

1m＝1,000円

緑と太陽に恵まれた本市も都市化の進行で野山の緑が少なくなってきています。そこで市では、昨年、市環境保全条例に基づき「自然緑地保全区域・約十一万平方㍍」「自然緑地保存樹木・三十三本」を指定し、緑の保存につとめてきました。今年は、さらに緑化推進から、生け垣を新しく作った方に奨励金を支払う「生け垣設置奨励制度」を設けました。

生け垣は、見る人の目をなごませるだけでなく、大地震のときに、ブロック塀などと違って、倒壊して人々を傷つけることもありません。塀を新設するときには、生け垣の設置をお願いします。

＜対象となる生け垣＞

市内に住宅用地を所有、または使用している方で、その住宅用地に本年四月一日以降に生け垣を新設した方及びこれから新設する方。

＜設置基準＞

次の①～④の要件をすべて備えたもの。

①共有の土地を除く居住用の住宅用地で、道路の幅が四㍍以上の公道（水路を含む）に接し、長さ五㍍以上の生け垣。長さは、門柱や車庫で区切られても同一敷地内に全体の長さが五㍍以上あれば該当（図①参照）。

②樹木の高さは、土台の高さを含めずに九十㌢㍍以上あり、生け垣の長さが一㍍について三本以上植栽されている（図②参照）。

③市長が推奨する樹木（ブナ科マテバシイ・ウバメガシ、モチノキ科モチノキ・イヌツゲ、ツバキ科サカキ・ハマヒサカキ・サザンカ・ツバキ、ツゲ科ツゲ、ニシキギ科マサキ、ドウダイグサ科ヒメユズリハ、モクセイ科ヒイラギモクセイ・キンモクセイ・ネズミモチ、スイカズラ科サンゴジュ、バラ科カナメモチ、ミズキ科アオキ、イヌマキ科イヌマキ・ラカンマキ、ツツジ科ドウダンツツジ・サツキ）。

④生け垣の土台は道路面から六十五㌢㍍（コンクリートブロック三段積みを目安とする）の高さまでとし、地震など防災面の配慮がされたもの。

＜奨励金の額＞

一㍍について千円、最高限度額は二万円。

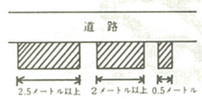
＜申請方法＞

生活環境課にある生け垣設置奨励金交付申請書によって申請。

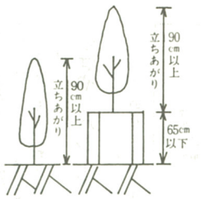
＜問い合わせ＞

生活環境課。

図① 合計で5m以上



図② 樹木の高さは90cm以上
土台は65cm以下



ようこそ海老名へ
県蚕業センターに中国研修生

市長に記念品を渡す陸さん（右）

七月十日、市内中新田の県蚕業センターへ中国安徽（あんき）省から養蚕学の研修のため来日中の陸貞銘（りくていめい）さんが左藤市長を表敬訪問しました。

陸さんは、神奈川県と中国安徽省との相互交流に関する覚書に基づいて、今年五月から来年三月までの予定で現在、蚕業センターで桑の栽培や蚕の飼育法などの近代的な技術を研修中です。

中国では、安徽農学院の先生で蚕種学を教えている陸さんは市長に、大学の恩師が描いてくれたという見事なエビの水墨画を手渡し、「日本の優秀な養蚕技術を勉強して中国へ持って帰りたい」と抱負を語り、左藤市長も「海老名市へようこそ、たいへんなことも多いでしょうががんばってください」と、市の花を型取ったブローチなどの記念品を渡して励ましていました。

8月5日 近くなる厚木駅
"こ線人道橋"開通で

厚木駅周辺のみなさんからご要望のありました「こ線人道橋」（厚木駅からさつき町まで、国鉄相模線の上にかけ渡した歩道橋）が完成し、今月五日から利用できます。

国鉄相模線・小田急線厚木駅は、主要地方道藤沢厚木線に面し、国鉄相模線より東側にお住まいの方々が利用する場合、約百㍍南へ下った厚木駅第二踏切を渡るか、約五百㍍北へ上がった厚木駅第三踏切を渡らなければなりませんでした。特に、朝夕の電車の本数が多いときなど踏切がしまるとその分時間がかかり、利用者から「こ線人道橋」の早期完成が望まれていたものです。

開通に向け急ピッチに工事が進む"こ線人道橋"。

この工事は、隣接する方々のご協力で本年三月に着工し、七月末に完成しました。橋の本体は、鋼製で、幅二㍍、長さ四十二・七㍍。両側の手すりの部分には高さ二㍍のガードを設け、橋から落ちたりしないように安全面にも注意がされています。また、目の不自由な方が利用しやすいように昇降口に黄色い点字ブロックを設けました。これらの総工費として概算五千七百万円がかかりました。

市長随想
ふるさとを創る

夏祭りの時季となりました。郷里に帰省される方も多いと思います。

「ふるさとは遠きにありて思ふもの」という犀星の詩があります。私は海老名に生まれ、育ちました。遠いふるさとを思い、懐かしむことも、帰省するということもできません。ふるさとをお持ちの方々がうらやましい気がします。

この詩文に対し、私は「ふるさとは近きにありて創るもの」と申しています。市民のみなさんの多数の方は、ふるさとをお持ちの方です。しかし、海老名で育ったお子さんは、この海老名がふるさとです。成長して他所へ転出される方、海老名に残り活動される方といろいろと思います。

その子らに、思い出となり懐しく思える「ふるさと海老名」を創りあげなければなりません。このため、精神的な面で交流があり、連帯があり、楽しく生活できるふん囲気を持った街作りも必要です。

近年、「みこし」「はやし」「盆踊り」などと、昔を偲（しの）び、ふる里を偲ぶ祭りも盛んになっているようです。これらの総まとめとした「えびなふるさとまつり」も近ずいてきました。実行委員のみなさんのご努力ですっかり定着しました。

全市民が一堂に集まり、交流の中で催しを楽しんでいただけるようになったらどんなにすばらしいことか。そのためにもみなさんの参加をお願いします。

市長　左藤　究

お知らせ

◆8月15日正午から1分間の黙とうを

毎年8月15日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」とし、政府行事として今年は日本武道館で全国戦没者追悼式が予定されています。この式典中、正午から1分間の黙とうをしますが、これに合わせて全国民一斉に黙とうをするようお願いします。

また、広島市でも、原爆死没者の慰霊並びに平和祈念から8月6日（金）午前8時15分から1分間の黙とうをするよう呼びかけています。市民のみなさんのご協力をお願いします。

◆危険物関係保安講習会

市消防本部では、危険物取扱い作業の従事者を対象に講習会を開きます。

▷とき・ところ＝8月19日（木）午後1時～4時半、市立中央公民館　▷内容＝危険物の卓上実験ﾘｯ　▷人員＝120人先着順　▷受講料＝無料　▷申し込み受付日＝8月10日（火）　▷申し込み＝電話で市消防本部（☎31・0355）　▷その他＝筆記用具を持参すること。

◆児童特例給付金の申請を

――児童手当を支給されていない方へ

児童手当の所得制限を緩和する「児童特例給付金」の制度が本年6月から向こう3年間実施されています。この給付金は児童1人につき1か月5,000円を年3回に分けて支払うもので、次の4つの条件に該当する方は早目に申請を。

▷支給条件＝①現在、義務教育終了前の児童を含む18歳未満の児童を3人以上養育②児童手当を支給されていない③厚生年金などに加入している被用者④所得制限…扶養親族など5人の場合（妻＋子供3人＋その他の扶養）で前年の収入が560万円（所得額403万円）未満。4人の場合（妻＋子供3人）で収入が523.75万円（所得額374万円）未満の方　▷詳しくは福祉課へ。

◆現況届けなど早めに提出を

――児童扶養手当・特別児童扶養手当の受給者の方へ――

児童扶養手当受給者は現況届け、特別児童扶養手当の受給者は所得状況届けを、8月11日～9月10日の間に福祉課へ提出してください（支給停止中の方も提出してください）。

これは前年の所得と受給資格について審査するもので、届け出をされませんと手当が受けられなくなることがあります。この届けには、手当証書、印鑑、その他の添付書類が必要になりますが、詳しい手続き方法は、8月上旬、本人あてに説明書を郵送します。事務手続き上、8月中に提出をお願いします。

▷問い合わせ＝福祉課。

◆福祉年金の受給者は証書の提出を

8月は福祉年金を受給している方が国民年金証書を提出する月です。

福祉年金は費用の全額が国の負担で支給される年金です。このため、他の公的年金を受けているときや、一定額以上の所得がある場合には支給が停止されることがあります。毎年、受給者などの前年の所得額を調査し、8月から翌年7月までの支給の決定を行います。

8月支払い期（8月11日から支払い）の年金を受け取りましたら、国民年金証書を保険年金課へ提出してください。提出が遅れると、次の支払い期（11月11日から支払い）に年金を受けられないことになりますので注意してください。

▷問い合わせ＝保険年金課。

◆こんなときに年金が受けられます

国民年金が受けられるのは、年を取ってからの老齢年金だけでなく、次のような年金もあります。国民年金加入者でこれらに該当する方は、保険年金課までご相談ください。

○障害年金…病気やけがで日常の生活に著しい制限をうけるようになった時
○母子年金…夫の死亡当時、妻が18歳未満の子（障害児の時は20歳未満）を扶養している時
○準母子年金…生計中心者の死亡当時、姉か祖母が18歳未満（障害児は20歳未満）の弟妹や孫を扶養している時
○遺児年金…両親がなくなり、18歳未満の子が残されたとき
○寡婦年金…老齢年金をうける資格がある夫が年金を受けないで亡くなった時に、その妻が60歳から65歳までの間

◆市職員をかたる者にご注意を

最近、市の行事の負担金を忘れたなどといって、市民の方から借金をする者がいますので、ご注意ください。

もし、このような者がいましたら市役所管理課へご連絡ください。

募集

◆第3回市総合体育大会参加チーム

（バスケットの部）

▷予選日＝8月22日（日）・29日（日）▷本選日＝9月5日（日）　▷会場＝市内小中学校体育館　▷参加資格＝市内在住在勤者で構成されたチーム　▷申し込み＝8月14日までに市役所資産税課　高山まで。

生活用品交換情報

＜譲ります＞マットレス（3つ折新品）、ダブルマットレス、ダブルベッド、ナイトテーブルほか
＜求めます＞掛け時計、ベビーベッド、おとな用自転車、2段ベッド、ピアノ、電気オルガンほか
▶登録期間は3か月間。交換はマナーを守り登録者同志直接に。紹介を受けたあとは、交渉結果を必ず商工課まで報告を。
▶情報・問い合わせは、商工課まで。

元気に担ぎ初め
須田さん（河原口）寄贈の子供みこし

七月十一日、河原口自治会に子供みこしが寄贈され、祭礼でにぎわう有鹿神社で子供たちが元気に担ぎ初めを行いました。

寄贈したのは、河原口に住む須田清次郎さん（78歳）で、須田さんは、五十二年前に厚木から河原口に移り住んで以来、同地区の自治会役員などを長年務めてきました。その間、周りの人たちからいろいろとお世話になったので、お礼の意味も含め、年に一度のお祭りをより楽しく過ごしてもらいたいと、子供みこしを河原口自治会に寄贈したものです。

このみこしは、重さ十㌔㌘、かつぎ棒の長さは約三メートル、頂きには黄金色に輝く鳳凰がついたりっぱなもの。

田口清春河原口自治会長からお礼の言葉と感謝状を受け取った須田さんは、三十人の子供たちが掛け声に合わせ力いっぱいみこしを担ぐようすを見て「いずれは後継ぎとなる子供たちが生き生きとみこしを担ぐ姿を見ることができて、本当にいい気持ちです」と語っていました。

ウァー！　これがぼくらの"みこし"だ！

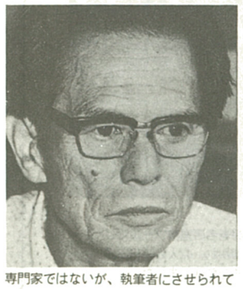
スコア・ブック

◇第10回市春季バレーボール大会（婦人の部）
（6月27日、海西中体育館）
▽一部一回戦（8チーム参加）

海西クラブ　2－0　社家みなみクラブ
上郷クラブ　2－0　あすなろクラブ
社家クラブ　2－0　社家みなみクラブ
海老小クラブ　2－0　あすなろクラブ
▽一部準決勝戦
海西クラブ　2－0　社家クラブ
海老小クラブ　2－0　上郷クラブ
▽一部決勝戦
海西クラブ　2－0　社家みなみクラブ
（21－14、21－12）
▽二部一回戦（変則リーグ・トーナメント戦、5チーム参加）
東クラブ　2－0　ひまわりクラブ
おおつかクラブ　2－1　中新田
ひまわりクラブ　2－0　国分クラブ
東クラブ　2－0　おおつかクラブ
▽二部決勝戦
おおつかクラブ　2－1　東クラブ
（21－16、21－10）

◇第4回市バドミントン大会
（7月4日、海老名高校体育館）
▽男子ダブルス初級（10ペア参加）
優勝＝山本晴俊・坂口正弘（一般）②山口政雄・茂木睦（ゼロックス）③野村康弘・尾崎淳一（海老名クラブ）
▽男子ダブルス上級（15ペア参加）
優勝＝笠原和茂・広山義之（一般）②涌井秀夫・佐々木孝幸（一般）③梅田泰三・大附博之（海老名クラブ）
▽女子ダブルス初級（10ペア参加）
優勝＝鈴木晴子・後藤智子（アザレア）②小林幸美・武藤幸乃（海老名中学）③園田喜子・田中早苗（海老名クラブ）
▽女子ダブルス上級（12ペア参加）
優勝＝水落美代子・渡辺京子（アザレア）②尾山智子（市役所）・上田道子（一般）③岩崎啓子・吉岡宮子（アザレア）

今月のプロフィル



専門家ではないが、執筆者にさせられて

史跡をたずねて書いた六十編
「農協えびな」の連載物「史跡をたずねて」が本に
遊作良貞（ゆうさくよしさだ）さん（中河内）

「約十年間、いろいろな神社・仏閣などを取材して歩いて何度も感じたことは、記録に残しておかないと消えていってしまうものが多い、ということでした」

遊作さんは、昭和四十八年四月に創刊された農協の広報紙「農協えびな」の「史跡をたずねて」のコーナーに、農協職員だった当時から現在まで約十年間にわたって執筆を続けてきたが、最近、後任者にバトンタッチした。

農協では、海老名・有馬両農協の合併十周年を記念して、六十編を数える遊作さんの文章を「海老名の史跡探訪」と題する一冊の本にまとめ、七月一日に発刊した。

「最初、『農協えびな』がよく読まれる広報紙にするには何か興味深い連載物を、ということで私があのようなことを提案したところ、執筆者にさせられて……」

その方面の専門家ではないから、という辞退は入れられず、第一号は"尼の泣水"を紹介した。

「知らないことが多いので、一つの文章を書くのに何人もの人を訪ね、古文書などを見せてもらったり、話を聞いたりしてから書きました」

"足で書く"という表現がぴったりの文章に「史跡をたずねて」という題名がよく似合い、回を重ねるごとに読者も増えていった。

「残念でならないのは、決められたスペースに掲載するため、取材したこと全部を書くことができなかった号がかなりあることで、ご協力いただいた方に申し訳なく思っています」

農協を退職した現在、地元の中河内地区の自治会長を務め、また、地区のはやし連の子供たちを指導するなど、活躍中。

「若いころから、表情が険しいので第一印象では非常に損をしています」

言葉とはうらはらに、遠慮深く、内省的な人柄は地区で知らない人はいない。中河内在住。

なお、「海老名の史跡探訪」は海老名市農協広報課で一部三百円で頒布中。

7月価格情報

（単位：円）

品目	単位	大型店 平均価格	大型店 最も多い価格	中小店 平均価格	中小店 最も多い価格
しょう油	パック1ℓ	261（1）	268	273（▲3）	—
みそ	袋入1kg	335（3）	338	299（▲13）	298
砂糖	白1kg	266（▲7）	268	273（▲17）	
マーガリン	パック225g	184（4）	—	198（3）	185
サラダ油	ポリ700g	341（—）	358	309（—）	280
マヨネーズ	ポリ500g	314（—）	298	337（—）	338
小麦粉	薄力粉1kg	186（2）	183	200（16）	210
牛乳	パック1ℓ	197（15）	198	200（▲18）	230
鶏卵	M 10個	189（▲22）	—	197（▲23）	210
かまぼこ	160g	143（▲2）	148	149（3）	150
即席ラーメン	100g	62（0）	62	64（0）	65
有リン合成洗剤	箱2.65kg	910（0）	910	893（5）	910
無リン合成洗剤	箱2.65kg	962（▲13）	910	944（20）	980
粉石けん	袋3kg	841（▲5）	850	815（▲42）	850
灯油	配達18ℓ	—（—）	—	1664（128）	1650

価格は、市消費生活モニター30人の協力を得て7月初めに調査した通常平均価格です。（　）内は前年同月比で▲は安。

消費者の声
生活汚水のことが問題になっているのに粉石けんを置いてない店があり残念だ。

善意のいずみ

善意銀行に次の方々から寄付がありました。ありがとうございました。（敬称略・順不同）

古泉茂　竹ぼうき五十本、国分尼寺第一・第二母親クラブ　ぞうきん百二十七枚、市園芸協会トマト部会（会長　大沢元義）　トマト三十四ケース、自彊術（じきょうじゅつ）同好会　二万五千十円、東興映画株式会社　三万円、東洋電機製造㈱相模工場労働組合　十八万一千二百四十二円、匿名　二十万円。

お知らせ

ゴールデン名画鑑賞会

数々の賞に輝く名作

駅　STATION

駅

高倉　健、倍賞千恵子　他

とき・8月21日㈯午後2時・6時の2回上映／ところ・市文化会館／前売り500円、当日600円（全自由席）／主催・文化会館事業協会／問い合わせ・市文化会館（☎32－3231）

催し物

◆敬老のつどい　9月10日（金）に

今年も文化会館で、市内在住の75歳以上の方（9月15日現在）を対象に「敬老のつどい」を開催します。お笑い名人会を始めとして、みなさんに楽しんでいただける催し物を企画しましたので、多数のご来場をお待ちしています。

▷とき・ところ＝9月10日（金）午後1時半から市文化会館ホール　▷内容＝お笑い名人会（曲芸　海老一染之助・染太郎、落語　春風亭柳昇、浪曲模写　前田勝之助、漫才　内海桂子・好江）ぬいぐるみショー「赤ずきんちゃん」（市内保育園保母多数出演）　▷お願い＝送迎バスを用意していますが、可能なかぎりご家族の協力による自家用車の送迎を　▷問い合わせ＝福祉課。

萬屋錦之介海老名特別公演

中止します

前売り券購入の方
払い戻しを

錦之介の病状悪化のため、9月19日に予定していた海老名特別公演は中止いたします。代役による公演もありません。事情お察しの上、ご了承をお願いします。

なお、前売り券をお買い上げの方には、お買い上げの場所で払い戻しをいたします。

市文化会館事業協会（☎32・3231）

◆手でふれる美術展

――みんなの愛と協力を！――

8月20日～22日　午前10時～午後6時　ニチイ海老名店3階あじあじ通り広場　▷内容＝石の彫刻、人形、はく製（鹿、イノシシ、リスなど）の展示　▷主催＝「手でふれる美術展」実行委員会　▷問い合わせ＝大和田大仙（☎38・3845）。

◆第6回相模ささら踊り大会

8月22日（日）午後2時～、門沢橋小体育館　▷内容＝相模に伝わるささら踊りの7団体（海老名、綾瀬、厚木、秦野、藤沢の各市）が一堂に会して発表し、交流をはかる　▷問い合わせ＝社会教育課。

◆園芸教室

8月14日（土）午前9時半～11時半、県厚木労働センター　▷内容＝家庭向き秋野菜の作り方　▷講師＝農業総合研究所　平岡達也さん　▷人員＝50人先着順　▷申し込み＝電話で県厚木労働センターへ（☎23・6211）。無料です。

◆安売りデーは第2金・土

とき・8月13日（金）・14日（土）
ところ・店頭に黄色の旗を掲げる協力店
品物・当日、店頭に掲示板で
価格・市場などの協力を得て廉価で

主催・市商工会

市役所から

交通ルール　みんなで守って　夏の事故防止

7月21日～8月20日
夏の交通事故防止運動

「交通安全は家庭、学校、職場から」をスローガンに、7月21日から8月20日までの31日間、「夏の交通事故防止運動」を実施しています。夏休み中、子供たちを交通事故から守るため、みなさんのご協力をお願いします。

この運動は、次の4点を重点に進めています。

①夏休み中の子供の交通事故防止
②シートベルト着用の推進
③暴走族の追放と若年ドライバーの無謀暴走運転の防止
④二輪車などの安全運転の徹底

◆寝たきりのお年寄りに市内巡りを

日ごろ外に出る機会の少ない寝たきりのお年寄りに、屋外の空気を吸っていただくと同時に、変わりつつある海老名の現実を自身の目で確認していただくために市内巡回を行なっています。

▷詳しくは、福祉課へ。

市役所　〒243　海老名市国分一五五　☎31・2111（代）

フォトニュース

▲統計グラフに興味しんしん
竹内清大谷中学校長を講師に迎えて開いた「統計グラフの作り方」教室には、イスに座りきれないほどの小学生が参加しました。7月22日、ニチイ海老名店で。

▲水泳指導を勉強
6月29日、夏休みを前にニチイ海老名店室内プールで、新採用教職員の水泳指導研修会が開かれ、42人の先生が児童たちのために水泳指導法や救急法を勉強しました。

◀模擬店も繁盛
県立海老名青少年会館利用者が中心となって行われた〝七夕まつり〟は、付近住民の方々などでにぎわいました。七月三日、県立海老名青少年会館。

▲チリも積もればゴミとなる
7月18日、美化デーの一環として行われた海老名駅前清掃には、海老名中学校ＰＴＡが中心となり約900人が参加。2トントラック2台分のゴミを収集しました。

▶親父！今、何をすべきか!!
市立中央公民館で行われた父親大会には二百五十人が参加し、講演後は〝父親の生き方、あり方〟をめぐって、熱っぽい討論が展開されました。六月二十七日。

「親子で手作り」も 新しく開講 好評の公民館講座

172人を募集

市立中央公民館では、市内在住の方を対象に表の日程で第二期公民館講座を開講します。受講料は無料ですので、ふるってご参加ください。（ただし教材費は受講者負担。革工芸に限り八千円程度）。

▽申し込み＝八月二十日まで

第２期公民館講座日程表

科目	内容	期間	曜日	回数	時間	講師	定員
料理	バランスのとれた食事と手作りのおやつ	9月10日～12月10日	金	10	9：30～12：30	森山佳永子	32人
手芸	革工芸を楽しむ（小物など）	9月13日～11月29日	月	10	10：00～12：00	鈴木ミヨ子	30
版画	手作りの年賀状（ゴム版・多色刷り）	9月9日～12月9日（第2・第4）	木	7	13：30～15：30	田中　孔山	20
着付	着物の知識と着付	9月16日～12月2日	木	10	10：00～12：00	西山　利子	30
親子で手作り	A藤で作ろう	10月2日～10月23日	土	4	14：00～16：00	船橋　静子	15組30人
	Bたこづくりに挑戦	11月20日～12月11日	土	4	14：00～16：00	未　定	〃

※会場は、いずれも市立中央公民館で。

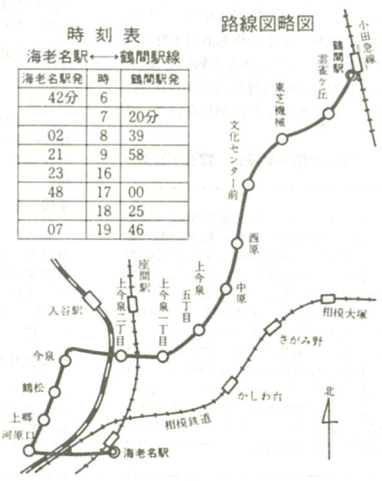
新路線バスのご利用を

地区住民のみなさんからの要望を受けて、市では民間バス会社に新路線の要望を行なっています。この要望が一部実り、六月二十一日から市内北部方面に海老名駅―鶴間駅線（神奈川中央交通）が開通しました。

市では、さらに他の新路線の要望を続けていますが、今回の海老名駅―鶴間駅線の利用者が増えて、バス路線として成功すれば、他の新路線の実現も早まることと思われます。みなさんのご利用をお願いします。

なお、路線図と時刻表は、左図の通りです。

路線図略図



時刻表
海老名駅←→鶴間駅線

海老名駅発	時	鶴間駅発
42分	6	
	7	20分
02	8	39
21	9	58
23	16	
48	17	00
	18	25
07	19	46

海老名むかしばなし

第48話
市に関する歴史上の人物
その四　高木清秀（たかぎきよひで）

晩年の清秀は仏門に帰依して名を性順と改め、静かな余生をおくっていたが、やはり生来の勇気は失われていなかった。慶長五年、上杉景勝追討のため、家康が小山（現在の栃木県小山市）に出陣した時、性順は海老名から小山まではせ参じた。

家康はその老齢と一途（いちず）の精忠をほめて錦の道服（どうふく＝老人などが着る服）を与えて海老名に帰らせたという。

彼は慶長十五年七月十三日、八十五歳の高齢で静かに大往生を遂げた。数えてみると、海老名を給わったのが天正十八年であるから約二十年間中新田に起居したことになる。

父清秀から正次が河内国丹南（たんなみ＝現在の大阪府丹南市）城主となって移るまでの間、二代三十二年間、高木氏と海老名との関係が続いた。

なお、最後の丹南城主――高木主水正（もんどのかみ）正垣（まさひら）の曽孫が現在の三笠宮百合子妃殿下である。

（池田正一郎氏＝国分＝から寄稿されたもの）

高木主水助（もんどのすけ）清秀が中新田に隠居し、そこに度々徳川家康が訪ねて来たことについてはすでに触れた。ここではその清秀の人物について語ろう。

高木清秀は三河国碧海（へきかい）郡牧内（まきうち）の住人宣光（のぶみつ）の子で、十六歳で三河の刈屋（かりや）の戦で名をあげ、織田信秀に従って小豆坂の合戦で敵に馬上で組みつき、重なり落ちてその首をとり、その後、石が瀬の戦で一日に七回先陣を懸け、そのほか功名を数えるに暇（いとま）のないほどである。

三河の一向宗の門徒の反乱に徳川のために働き、姉川の合戦や、天正二年、織田氏が伊勢の長島を攻めた時にも勇名をとどろかせ、また、浜地蔵の戦に織田信秀の軍が負けかかった時、清秀の先陣で戦況が盛り返した。

有名な長篠の合戦でも戦功を立て、その後もお度々先陣をして高名となり、天正十年家康に仕え、小牧山の戦には軍奉行をし、長久寺の戦に活躍して徳川方を有利に導き、小田原攻めの時にも軍奉行をした。そしてこの年すなわち天正十八年相模国海老名五千石を給い、文禄三年（一五九四）、その子正次に家督をゆずってそのまま海老名に関居した。

以上は、新井白石の著「藩翰譜（はんかんぷ）」から主として引用したものである。清秀は終止、戦場の花であったことは以上の叙述でわかろう。なお、この本の中では海老名を「鰆名」と書いている。